

2023年度前期		知の市場(シラバス)						新規			
科目No.	関連講座GR591c	科目名	持続的経済成長論(3)				副題	長期停滞の原因、惹起された課題、および長期停滞の解決策を探る			
連携機関名	社会技術革新学会	水準	中級	教室定員	0	配信定員	30	講義日時	第2水曜日21:00~23:00	拠点 (開講機関)	リモート・世田谷 (知の市場)
科目概要(300字)	日本はなぜバブル破裂とその後の金融危機以来、長期にわたる低成長が続いているのだろうか。この原因に迫るため経済低迷の始まりから今日までの日本経済をめぐる環境と経済政策及び付加価値を創り出す経済主体の対応を把握し、長期低成長を招いた原因を考察する。次に経済の長期低迷とその対応によりもたらされた日本社会や経済の持続性に係る課題の現状を概観する。さらに、どうすれば再び付加価値増大路線に回帰できるのかを、各経済主体別に短期、中期、長期の時間軸に分けて考察する。										
科目構成	No.	講義	講義概要(150字以内)				講義日	開講場所	取纏め者	講師	所属
現代日本経済史	1	1990年以降の日本経済	1990年以降の日本経済について経済成長率および経済成長率の骨格を形成する主要経済指標を概観し、日本経済の低迷ぶりを確認する。				2023/4/12	Zoomを活用してリモート開催。	井上知行	井上知行	社会技術革新学会 会員 日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA) 国際公認投資アナリスト(CIIA)
	2	経済成長に繋がっていない長期金融緩和	バブル破裂以降にわたる金融政策の変遷と経済成長率や金融市場に及ぼした影響を概観し、低金利政策が長期にわたる低迷が続く日本経済にもたらしたものを考える。				2023/5/10				
	3	債務残高がどんどん積みあがっている日本の財政	日本の財政状況はバブル破裂を境に悪化し続けている。経済低迷による歳入の伸び悩みの中で景気刺激策を繰り返しているあいだに、高齢化率の上昇により社会保障関係費が増加し、財政の硬直化と財政赤字額の恒常的増大が進行している様子を概観する。				2023/6/14				
	4	構造改革は経済成長に貢献したのか	1990年以降の主な構造改革とその成果を振り返り、構造改革は経済成長に貢献したのかを考察する。				2023/7/12				
企業成長論	5	低成長下における製造業の成長戦略とその影響	経済低迷にあえぐ日本経済の状況下において、製造業はどのような成長戦略を選択したのか。その結果、日本経済にどのような影響をもたらしたのかを概観する。				2023/8/9				
	6	非製造業の予想される対応とその影響	産業構造全体に占める非製造業の比率が高まる中、非製造業はどのように変化しつつあるのか。その変化は日本経済や家計にどのような影響をもたらすのかを推察する。				2023/9/13				